

報道機関 各位

何香凝芸術名作展

AN EXHIBITION OF SELECTED WORKS BY HE XIANGNING

この度上野の森美術館では、9月6日(水)より15日(金)まで、「何香凝芸術名作展」を開催いたします。本展は、今年が日中国交正常化45周年にあたること、来年は日中平和友好条約締結40年を迎える節目になることから、中華人民共和国僑務弁公室と中華人民共和国駐日本国大使館の支援により、何香凝美術館、(公社)日本中国友好協会、女子美術大学が共催で開催するものです。

何香凝^{かこうぎょう}(1878-1972)は、中国近現代の政治活動家、芸術家として活動した偉大な女性としてその名を知られ、1997年には、中国で初めて個人名を冠した国家級(国立)の美術館として「何香凝美術館」が、設立されました。

何香凝は、1903年に夫、廖仲愷^{りょうちゅうがい}とともに勉学のために来日し、1909年から1911年まで私立女子美術学校(女子美術大学の前身)で絵画を学びました。

本展では、何香凝が日本で制作した「獅子」、「虎」などに代表される初期の貴重な作品をはじめ、中国画の伝統的な画題である四君子を表す「梅」「竹」「蘭」「菊」などの絵画40点と、資料写真12点を、3章に分けて展示します。

なお、上野の森美術館での開催後、女子美術大学美術館に9月19日(火)～9月29日(金)の予定で巡回いたします。

つきましては、貴媒体にて本展をひろくご紹介いただきたく、よろしく願いいたします。

第1章

1章では、何香凝が日本で制作した初期の作品を中心に紹介します。

初期の代表作、「獅子」、「虎」、「馬」、「菊」などは、精微な美しさが際立ち、主に「日本画の時代」と言われます。動物の画題は、日本留学中に師事した四条円山派の日本画家、田中頼璋(1868—1940)から学んだものでした。獅子や虎は、中国近現代の政治活動のシンボルとして描かれることが多く、中国の知識人から勇猛果敢の象徴として好まれました。

3.《菊》は何香凝が日本の友人、宮崎寅蔵(*1)夫人に贈った作品で、日中友好の歴史の証とされています。

また、何香凝は中国の詩人・柳亜子(1887—1958)と親交を深め、1920年代以降は何香凝の絵に柳亜子が題を記すことが多くなりました。1913年に描いた獅子の絵に柳亜子が「国の魂が眠れる獅子の目を醒めさせる」という画題と題詩をつけたため、その後、彼女の描く獅子の絵すべてにナショナリズムを高揚させるイメージが重ねられることになりました。



1. 《獅》 63×49cm 絹本着色 1914年



2. 《虎》 26×30cm 絹本着色 1910年

第2章 - 3章

2章、3章では、何香凝と芸術家や政治家との合作を紹介します。

中国では、草木や花の中でも「梅」「竹」「蘭」「菊」は特にその姿が高潔で、あたかも君子の趣があるところから、「四君子」と例えられ、東洋画の伝統的な画題としてたびたび用いられました。政治家をはじめ、詩文や書画など文芸に親しむ多くの友人たちと交流した何香凝は、彼らの影響を受け、「時流に流されない不屈の気概と高尚な心情を表す」とされる四君子(梅、竹、蘭、菊)を多数描くようになりました。そしてその後、彼女の作品は中国の伝統的な文人画や山水画の流れを汲むものへと変化していきました。

この章では、北京画院や上海画院の同時代の芸術家や、中国の国家指導者等との合作とされる作品を展示します(5.《山水》ほか)。何香凝の描いた山水や松に、息子^{りょうしょうし}廖承志^(*2)が人物を描き加え、生き生きとした風情に満ち溢れた傑作もご覧ください。



3



4

3. 《菊》99×31cm 絹本著色 1913年

4. 《月下小景》80×38cm 絹本著色 1920年

5. 《山水》34×76cm 絹本著色 1929年



5

(※1) 宮崎寅蔵は日本で孫文達を支援して、辛亥革命を支えた人物

(※2) 廖承志^{りょうしょうし} (1908~1983) は、廖仲愷、何香凝の息子。廖仲愷が日本に留学中に東京で生まれる。中国の政治家。新中国成立後に日本中国国交回復に尽力。中日友好協会会長もつとめ両国の民間友好交流を推進し、国交正常化の実現に歴史的な貢献を果たした。

何香凝美術館とは

何香凝美術館は中国で初めての個人名を冠した国家級(国立)の美術館です。何香凝の絵画、美術品等の収蔵、陳列、研究、普及を目的として1997年4月18日に完成しました。(住所は南山区華僑城)



< 展覧会開催概要 >

【展覧会名】 何香凝芸術名作展

【会 期】 2017年9月6日(水)～9月15日(金) *会期中無休、展示替えはありません。

【開館時間】 10:00～17:00 ※入館は閉館の30分前まで

【会 場】 上野の森美術館 東京都台東区上野公園 1-2

【入館料】 無料

【問合せ先】 上野の森美術館 03-3833-4191

【主 催】 何香凝美術館、(公社)日本中国友好協会

【協 力】 女子美術大学